

平成２７年度日光市指定管理施設の評価結果

《評価結果表について》

○この表は、施設所管課が指定管理者の管理運営業務を評価した結果について取りまとめたものです。

○当該評価は、指定管理者による管理運営業務について『提案書や事業計画書に定めた目標値や事業内容に対してどの程度達成できたか』や『協定書管理等に基づき適正かつ確実に実施されたか』を事業報告書や実地調査結果等を踏まえ、評価しています。

○総合評価ランクは、各評価項目ごとの採点の合計得点に基づき、次の5段階で評価しています。

評価の目安	総合評価ランク	内容
↑ ↓	良い	A
		B
	普通	C
		D
	適切でない	E

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	評価結果					担当部課名 (H28. 4. 1現在)	
					A	B	C	D	E		総 評
今市地域	1	J R今市駅市営自転車駐車場	株式会社 近代ビル管理社	23. 4. 1～ 28. 3. 31		○				【総評】 誰もが利用しやすく、利便性と安全性を両立した快適な環境づくりを維持しているという点で評価は「適正」であるといえる。 また、以前から要望のあった安全面についても可能な限り 1 名の係員を出入り口に配置し、その都度対応することにより安全確保されているため、評価できる。 なお、今年度は昨年度と比較すると利用件数及び料金収入が増加しているが、この施設は、実績からも指定管理料と料金収入がアンバランスなうえ、例年赤字であり、新設された東武下今市駅自転車駐車場の管理方法に併せて、J R今市駅自転車駐車場についても再検討する余地があるといえる。 【より良い施設運営に向けての方策】 平成 2 8 年度から直営に変更した。	市民生活部 生活安全課
	2	温泉保養センター「かたくりの湯」	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31		○				【総評】 施設の管理は適正に行われている。利用者のアンケートについては、利用者の割合からすると回収数が少ないため、もっと広く意見を徴収し、サービスを向上させることにより利用料金収入の確保を図っていただきたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 もともと市民の利用率が高い施設であるが、使用料の高い市外利用者を取り込むことにより収入の確保が図られることから、市外居住者の利用促進に視点を置いた取組の検討を指導する。また、自主事業の実施にあたっては、収入が確保できるような取組の検討を指導する。	観光部 観光交流課
	3	市民活動支援センター	特定非営利活動法人 おおきな木	27. 4. 1～ 27. 9. 30		○				【総評】 利用者は平成 2 7 年 9 月の大雨の影響等もあり前年度を下回ったが、相談件数は増加しており市民活動支援センターの役割が広く市民に知られてきていると言える。また、人材育成のための研修会の充実や、定期的な情報誌発行の他、インターネットを利用した情報発信を行う等、施設の設置目的の達成について取り組みを行い、成果も得られ、日光市の市民活動の拠点施設として機能の充実が図られた。 【より良い施設運営に向けての方策】 市民活動支援センターは、平成 2 8 年度建替え工事実施のため、センター機能を一時的に勤労青少年ホームに移転するが、これまで果たしてきた役割を十分に継承しながら、市民活動に支障を来たさぬよう、新施設においても指定管理者制度を導入し、市民活動の拠点施設としての運営を引き続き行っていく。	地域振興部 地域振興課
	4	生きがいセンター	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			【総評】 適正に運営されているが、利用者が減少しており、高齢者のニーズ把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及が必要である。 【より良い施設運営に向けての方策】 施設の P R や事業の周知、利用サークル等との連携等により、利用者増加を図るよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	5	今市宿市緑ひろば	一般社団法人 日光市観光協会	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			【総評】 直近に日光街道ニコニコ本陣が開設したことにより、イベント等利用者が減少している。また、（仮称）日光文化創造館の開設も今後予定されてる。独自に利用者の増加を目指すよりも、これらの施設と連携した取組による利用促進に努めてもらいたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 近隣施設と相乗効果が図れるような取組の検討や、ニコニコ本陣に向うための施設駐車場利用者を取り込むような方策を検討する。また、今後の施設運営にあたっては機能の見直しが必要となるため、市民ニーズを捉えたサービスを提供できる施設運営を指導する。	観光部 観光交流課
	6	農村環境改善センター	日光市土地改良区	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			【総評】 再利用を希望する団体等も多いため満足度は得られていると思われる。 また、ダムは農業用ため池として重要な役割を担う施設であるため、施設機能保全のための管理体制強化に努めてもらいたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 アンケート調査等を実施することで、利用者の満足度、要望等をより明確化し、満足度、安全性等の向上を図る。	産業環境部 農林課

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	評価結果						担当部課名 (H28. 4. 1現在)
					A	B	C	D	E	総 評	
今市地域	7	大室ダム及び周辺公園	日光市土地改良区	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			【総評】 施設の維持管理については昨年同様苦情も少なく、利用者の満足度は高いと思われる。 しかし、動物防除ネットについては、設置が不十分と思われるので、設置個所を増やす等対応を検討してほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 動物防除ネットについて、設置個所を増やすことで、動物が公園内に入り込める箇所を減らす。 また、既設の防除ネットの維持管理を定期的を実施することで、破損箇所からの侵入を防止する。	産業環境部 農林課
	8	小百川桜公園	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【総評】 一定の経費節減が図られ施設の管理運営も適正に実施されている。しかし、観光施設であるため集客や収入の確保に向けた取組が必要である。 【より良い施設運営に向けての方策】 平成28年度から都市公園となったが、施設利用者の意見を広く収集し利用者のさらなる利便性向上を図る。	観光部 観光交流課
		都市公園 ①今市中央公園 ②平ヶ崎公園 ③ひばり公園 ④あきの空公園 ⑤杉の木公園 ⑥春日町公園 ⑦原町公園 ⑧大桑杉並木観賞公園 ⑨轟工業団地第一公園 ⑩轟工業団地第二公園 ⑪轟工業団地緑地 ⑫大谷川グリーンパーク ⑬杉並木公園 ⑭おおり公園 ⑮かたくりの湯公園 ⑯森友ポケットパーク ⑰住吉町ポケットパーク ⑱市役所入り口ポケットパーク ⑲あかほり公園 ⑳土橋公園 ㉑地蔵下公園					○			【総評】 おおむね事業計画のとおり業務が遂行されており、公園施設が適正に維持・管理され、市民が安心して公園を利用できるよう安全性の確保に努めている。利用者からの要望等に対する対応の早さについても評価できる。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・利用者アンケートを実施し、利用者の要望を収集する。 ・公園施設においてイベント等を開催してPRを図り、公園利用の促進を図る。	建設部 維持管理課
	10	運動公園 ①今市運動公園 ②丸山公園 ③落合運動公園 ④豊岡運動公園 ⑤塩野室運動公園	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【総評】 おおむね適正な管理運営が実施され、設置目的である市民のスポーツの振興と健康の保持増進に貢献している。 【より良い施設運営に向けての方策】 施設の老朽化が進んでいる中で、修繕や補修を実施し、利用者が安全に利用できる施設を目指す。	教育委員会 スポーツ振興課
	11	杉並木公園ギャラリー	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31		○				【総評】 利用者が安心して使用するため施設清掃を徹底し、日常の施設管理及び利用者に接する職員の質の向上を目指した管理運営が行われていた。広報紙、各新聞社、公社ホームページ等情報提供先を増やし、催事情報を入手できる対象者の幅を広げることができた。 【より良い施設運営に向けての方策】 展示の際の釘穴や両面テープの使用により壁面の傷みが見受けられるため、簡易的な補修を随時行うほか、計画的な維持管理に努める。 また、アンケート結果や利用者からの直接の声を踏まえ、利用しやすい施設運営とサービスの向上を図り利用数の増加を図る。	教育委員会 生涯学習課
	12	今市文化会館	株式会社 ケイミックス	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【総評】 ・近隣に一部類似する機能を持つ施設「日光街道ニコニコ本陣」が平成27年4月にオープンした影響等により、施設利用者数が大きく減少した。 ・主催事業では入場者数についてはおおむね目標値を達成したが、市制10周年記念事業として収入が見込みにくい事業を実施したため、入場料収入が大きく減少した。 ・利用者の満足度は良好で、経費の節減をしつつも施設設備の保守管理や修繕は計画的に行われており、大きなトラブルも無く安定した管理運営を行っている。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・今後は中規模ホールを持つ「ニコニコ本陣」との差別化を図り、大規模ホールとしての機能を生かして新たな利用者を増やすためのPRを行うよう指導する。 ・主催事業については目標の収入を確保できるよう、魅力ある事業の実施及び効果的な宣伝を行うよう指導する。	教育委員会 中央公民館

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	評価結果					担当部課名 (H28. 4. 1現在)	
					A	B	C	D	E		総 評
今市 地域	13	今市図書館 日光図書館 藤原図書館	株式会社 図書館流通センター・株式会社 近代ビル管理社共同事業体	24. 4. 1～ 29. 3. 31		○				【総評】 ・開館日（時間）の増加、集客事業の増加を実現したが、利用者は前年より減少した。日光図書館が移転期間中でありながら、減少が緩やかであった点について努力を評価する。また、図書館事業において、3館それぞれの特色を活かした事業と、共通の事業のバランスを考慮し、移転期間中の日光図書館のフォローを行いながら今後の事業を展開していってもらいたい。 ・図書館職員が情報を共有し研鑽することで、一般的な質問に加え日光市の歴史や文化など質問に対応できるような体制を維持してもらいたい。 ・今後も地域の状況を把握し、利用者だけでなく住民ニーズに対応した、信頼される図書館を目指してほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・図書館資料の選定については、継続して図書館の所蔵資料全体を分析する。また、図書館本来の目的に沿って、蔵書管理等の業務を行う。 ・図書館へ複数苦情が寄せられた案件については、職員及び職員間の意識の持ち方、動線配置の見直しなどを行い、常に質の高いサービスが提供できるよう徹底する。	教育委員会 生涯学習課
	14	斎場 日光聖苑	日光聖苑運営共同事業体 静祈	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			【総評】 ・全体的には市と相談しながら、適正な施設管理が行われた。 ・運営費について人員の配置を調整することで目標値より実績値が下回り、経費の低減が図れた。 ・接遇の研修を実施したにもかかわらず、利用者からその接遇について苦情を受けたことについては、改善の余地があると考え。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・利用者個々の心情を最優先に考えた対応を検討する。 ・毎日の業務は同じであっても意識を改善し、対応が決して事務的にならないよう職員全員が注意する。 ・利用者だけでなく、葬祭業者へも対応が事務的にならないよう接遇意識の再確認を行う。	市民生活部 生活安全課
	15	日光ブランド情報発信センター	上都賀農業協同組合	27. 4. 1～ 30. 3. 31			○			【総評】 ・利用者向け事業を行い、利用者増加につながるよう努力はしているものの年間利用者数は目標値には達しなかった。 ・年間販売額及び、収支については目標額を上回る結果となったが、コスト面では目標達成はならなかった。 ・その他の項目についてはおおむね目標を達成している。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・集客がある日、時間帯における集荷量のさらなる増加を図り、消費者ニーズに応えられる努力を行う。また、それに伴うリピーターの確保を狙い、利用者の増加につながるよう指導する。 ・支出についての検討を行い、コストの削減を達成できるよう指導する。	産業環境部 農林課
	16	中心市街地集客拠点施設 (ニコニコ本陣)	株式会社 セレスポ	27. 4. 1～ 30. 3. 31		○				【総評】 オープン初年度ということもあり、日本のこころのうたミュージアム・船村徹記念館においては、目標を大幅に上回る入館者があった。一方で、多目的ホールや広場の利用率は目標に達しておらず、ホールや広場のPRが不足していると考えられる。 経費節減及び収入の増加については、平成27年度をベースとして努めてもらいたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・日本のこころのうたミュージアム・船村徹記念館設は、利用者を維持するため、旅行会社等へのPRや、企画展の実施などを行う。 ・ホール・広場の稼働率を上げるため、各種団体や企業への施設PRを行う。 ・日光観光のゲートタウンに位置する道の駅であるため、さらなる満足度の向上に努める。	産業環境部 商工課
日光 地域	1	奥日光診療所	公益社団法人 地域医療振興協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31		○				【総評】 診療所の運営に必要な有資格者等を配置し、診療日数を確保して診療にあたるなど、協定書・仕様書等に基づき適正に実施されている。 【より良い施設運営に向けての方策】 中宮祠地区という地域特性に沿った施設管理や、観光客を含む初診患者等への適正な診療体制について、充実を図る。	健康福祉部 健康課
	2	温泉保養センター ①日光温泉 ②やしおの湯	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【総評】 やしおの湯及び日光温泉について、休館日の増加、露天風呂の営業時間の短縮によって、収入は前年度を若干下回ったが、自主事業によるイベントや割引制度の実施により、利用者数の確保に努めている。 また、自主事業による多彩なイベントや割引制度の活用を実施するなどの顧客獲得の取り組みについては評価できる。施設の管理についても衛生管理や危機管理に十分配慮した運営を行っていた。 【より良い施設運営に向けての方策】 従来の手法にとらわれない新たな自主事業の実施や接遇の向上、市外への幅広い宣伝活動を行なう等、新規利用者及びリピーターの増加を図る取組を検討する。また、経費節減につながる取組についても検討する。	観光部 日光観光課
	3	日光総合会館	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【総評】 経費節減を徹底しながらも、常に市民及び観光客の利便性を考慮した適正な施設の管理運営を行ったことにより、入場者数の増加につながった。また、自主事業を実施する上では、地域団体とも連携し、誰もが大いに楽しめる快適な場を提供し、さらに多くの入場者を確保すべく、企画・実施をしてほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 営業や広報活動で施設を多方面にPRし、利用率を上げることで、収入増加を図る。また、継続的な利用を促し、リピーターの確保に尽力する。	観光部 日光観光課

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	評価結果					担当部課名 (H28.4.1現在)	
					A	B	C	D	E		総 評
日光 地域	4	市営駐車場 ①西参道第1駐車場 ②西参道第2駐車場 ③西参道第3駐車場 ④日光駅前駐車場	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	23.4.1～ 28.3.31		○				【総評】 利用率向上に向けて努力し、かつ利用者ニーズに応じたサービス提供や、利便性と安全性を考慮した管理運営により、駐車台数も利用料金も前年を上回った。また、駐車場管理をしながら観光案内業務も怠らず、観光情報発信の拠点として、今後も観光地日光をPRしてもらいたい。なお、苦情・要望に対しては、トラブル回避のため、今後も臨機応変な対応を望む。 【より良い施設運営に向けての方策】 常に快適な環境整備を意識し、利用者増加を図る。また、営業や広報活動で施設を多方面にPRし、利用率を上げることで、収入増加を図る。	観光部 日光観光課
	5	神橋駐車場	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21.4.1～ 31.3.31		○				【総評】 観光客増加の影響により、駐車台数も利用料金も前年を大幅に上回った。また、利用者へのサービス提供により利用促進を図り、閑散期（冬季）には駐車場を無料開放するなど周辺地域の活性化にも貢献して、利用料金収入の範囲内で、支出を最小限に抑えながら効率的な駐車場の管理運営を行うことができた。 【より良い施設運営に向けての方策】 常に柔軟な施設の管理運営に努め、ホームページ上での周知や広報活動等を積極的に行い、利用者をさらに確保し、収入増加を図る。Q38:S39	観光部 日光観光課
	6	小杉放菴記念日光美術館	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21.4.1～ 31.3.31			○			【総評】 美術館では、様々な事業を展開しており、これらは利用者に概ね好評である。入館者数は、年々減少傾向にあったものの今年は微増に転じた。 【より良い施設運営に向けての方策】 今後とも、専門性や芸術性を堅持しつつ、市民のニーズにあった企画を立案し、さらなるPRに努め、入館者の増加を図る。 また、美術に関する教育普及事業として、児童生徒の興味関心を高める美術鑑賞教室が提供できるよう、内容の充実を図る。	教育委員会 生涯学習課
	7	日光福祉保健センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	23.4.1～ 28.3.31			○			【総評】 適正に運営されているが、利用者が減少しており、高齢者のニーズ把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及が必要である。 【より良い施設運営に向けての方策】 施設のPR、事業の周知、利用サークル等との連携等により、利用者増加を図るよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	8	小来川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25.4.1～ 30.3.31			○			【総評】 地域包括ケアの一翼を担う事業所として、地域との連携を強化し、利用者の拡充につなげた努力が見られる。今後もきめ細やかなサービスに努め、よりいっそう利用者の拡大に努めてほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 介護サービス利用につながっていないケースの解消や、見学会やお試しデイなどによる周知や交流を行い、新規利用者の拡充に努める。 引き続きアンケート調査を実施し、利用者や利用者家族のニーズを把握、分析する。また、地域住民と信頼関係をつくり、地域に開かれたデイサービスセンターとなるよう、積極的な交流活動を行う。	健康福祉部 高齢福祉課
	9	小倉山森林公園	日光彫り体験教室運営協議会	24.4.1～ 29.3.31			○			【総評】 年間31,040名の体験教室の利用や学校団体430校の受け入れを行い、アンケート調査の満足度も高く、観光施設としての一定の役割は果たしている。商工の観点からすると、地場産業後継者育成に関する業務及び日光彫りの普及に注力して、伝統工芸の継承や発展に繋がるような施設となることが必要と考える。 運営に関する点では、年度途中で体制が変わり事務処理の質が低下している。 【より良い施設運営に向けての方策】 事務を統括する事務長及び経理業務を担当する職員を配置し、事務は事務職の職員が行い、体験教室の講師は木彫りの職人が務めるなど、役割分担をしっかりとすることで、各々が自分の職務に専念し、木彫りの里工芸センターを中心に小倉山森林公園の運営管理ができる体制を整える。	産業環境部 商工課
10	交流促進センター	日光温泉旅館協同組合	24.4.1～ 29.3.31		○				【総評】 食事メニューの改善や浴室をこまめに清掃する等こまやかなサービスを提供しており、利用者からは高い評価を得ている。また、館内でのインターネット環境の整備等により施設の利便性を高め、固定客を増加させたことは評価できる。 【より良い施設運営に向けての方策】 様々な媒体を利用した広報・宣伝活動や、自主事業を実施する等、さらなる集客増を図るような取組を検討する。	観光部 日光観光課	
11	日光郷土センター	社団法人 日光観光協会	27.4.1～ 32.3.31			○			【総評】 日光地域の観光案内所の拠点施設として、公の施設の管理者として、意識を高く持ち、サービス向上に努めてほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 ウェブサイト等での広報活動を増やし、施設のPRを行うと共に、自主事業等を企画し自主財源の確保に繋げる。	観光部 日光観光課	
12	中宮祠介護サービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	26.4.1～ 31.3.31		○				【総評】 訪問介護については利用者拡充のため日光地域へも事業展開を行っており、中宮祠地区へのサービス提供を想定した当初の設置目的以上の成果が得られている。 【より良い施設運営に向けての方策】 引き続きアンケート調査を実施し、利用者や利用者家族のニーズを把握、分析する。また、地域住民と信頼関係をつくり、地域に開かれた事業所となるよう、積極的な交流活動を行う。	健康福祉部 高齢福祉課	

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	評価結果					担当部課名 (H28. 4. 1現在)	
					A	B	C	D	E		総 評
日光 地域	13	日光運動公園 日光体育館 細尾ドームリンク	財団法人 日光市公共施設振興公社	24. 4. 1～ 29. 3. 31		○				【総評】 施設も経年劣化の影響を受ける中で、職員の努力もあり適性に管理されていると考える。 【より良い施設運営に向けての方策】 安全対策、危機管理体制など各職員が現場を一番認識しているはずなので、細かな部分にも注意を払って、よりよい施設の管理を行う。	教育委員会 日光公民館
	14	日光霧降高原キスゲ平園地	一般財団法人 自然公園財団	25. 4. 1～ 28. 3. 31		○				【総評】 管理面では、自然環境保護を専門とする職員や気象予報士を配置し、適正な公園管理が図られ、利用者の安全確保対策も良好に行われている。今後も施設の利用者に限らず登山者等への臨機応変な対応を望みたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 地域との連携を図ったイベントを実施したり、ウェブサイト（facebook等）により最新情報を提供するなど、宣伝・広報活動を増やし、誘客に努める。	観光部 日光観光課
	15	霧降スケートセンター	一般財団法人 日光市公共施設振興公社	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			【総評】 自然に左右される施設というデメリットがあるが、人的努力により維持管理に努めている姿勢があり、適正に管理運営されている。 【より良い施設運営に向けての方策】 より集客が得られるよう魅力のあるイベントや教室を企画する。	教育委員会 日光公民館
藤原 地域	1	三依診療所	学校法人獨協学園 獨協医科大学日光医療センター	24. 4. 1～ 29. 3. 31		○				【総評】 診療所の運営に必要な有資格者等を配置し、診療日数を確保して診療にあたり、地元との信頼関係も築かれるなど、協定書・仕様書等に基づき適正に実施されている。 【より良い施設運営に向けての方策】 規定の診療日数を確保した上で、地域の実情に即したへき地診療の確保に努める。	健康福祉部 健康課
	2	藤原福祉センター ふじの郷	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			【総評】 利用者の減少、光熱水費の増加などが見られ、施設利用の面では運営・維持管理に改善が必要である。 【より良い施設運営に向けての方策】 地域福祉の拠点として、地域の方々に施設を利用してもらうため、施設の有効利用、利用者のニーズ把握と満足度向上、事業の周知、経費削減に努めるよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	3	みよりふるさと体験村（みよりふるさと体験村センター・キャンプ場）	中三依自治会	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			【総評】 施設に入浴施設がないため、中三依温泉センターと連携し運営を行った。また、リピーターを含めた利用促進が図られ、近隣にある日光市農業公社の体験農園の利用者や栃木百名山である芝草山の登山などの活動拠点として、認知されるようになった。 【より良い施設運営に向けての方策】 利用者・収入の増を目指すPR活動は必須。集客の確保のために近隣施設との連携に努めていただきたい。	観光部 藤原観光課
	4	川治温泉薬師の湯	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			【総評】 地元住民と観光客とのふれあいの場として、地域振興に寄与している。以前にコンサルタントによる検討したものを実践し、また、積極的にPR活動も行い、収入増につなげている。 【より良い施設運営に向けての方策】 衛生面には細心の注意を払い、利用者増のためのアンケートを実施する。	観光部 藤原観光課
	5	鬼怒川・川治温泉観光情報センター	一般社団法人 日光市観光協会	26. 4. 1～ 31. 3. 31			○			【総評】 鬼怒川温泉の玄関口にあるため、来訪者に丁寧な対応をしている。観光PRも事細かに最新情報を発信している。また、環境美化は積極的に行っている。また、アンケート結果に即応できる体制がとれている。中国人観光客に対し中国語堪能な職員の配置などインフォメーション機能を高めた。 【より良い施設運営に向けての方策】 外国人観光客も増えてきているため、一層のインフォメーション機能の充実をお願いしたい。また、観光客のニーズに合わせ、より細かな応対をお願いしたい。	観光部 藤原観光課
	6	上三依水生植物園	有限会社 山加園	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【総評】 施設の設置目的など理解し、計画的な運営をしている。情報を細かに発信し、誘客に努めた。自主事業を積極的に行い、利用者の反応も良い。利用者目線で経営が図られたことにより、収入面でも安定している。「ヒマラヤの青いケシ」だけでなく、園のバリューパフォーマンスを向上した。 【より良い施設運営に向けての方策】 関東東北豪雨被害が風評的にならないよう、来場者の確保をとれるよう誘客宣伝を務めていただきたい。	観光部 藤原観光課
足尾 地域	1	足尾保健・高齢者生活福祉センター（銅やまなみ館）	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	27. 4. 1～ 32. 3. 31			○			【総評】 適正に運営されているが、利用者が減少しており、高齢者のニーズ把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及が必要である。 【より良い施設運営に向けての方策】 地域福祉の拠点として、地域の方々に施設を利用してもらうため、施設の有効利用、利用者のニーズ把握と満足度向上、事業の周知、経費削減に努めるよう指導する。また、居住者がいるので、緊急時の安全対策にさらに備えるよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	2	足尾環境学習センター	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会	27. 4. 1～ 32. 3. 31			○			【総評】 ・入館者は毎年減少気味であるが、前年対比を見ても減少の幅が小さくなり、各種イベント等に参加して施設等のPRを行っている。 ・今後も設置目的の「銅山の歴史を紹介紹介するとともに、自然の大切さと環境問題を学べる施設」として、入館者増のため、さらなる工夫を期待する。 ・施設全体を見ても老朽化が目立ち、修繕等を行ったが、多額な費用が見込まれる大型設備（空調）修繕が残った。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・空調設備を修繕し、利用者の満足度を向上させる。 ・前年度に引き続き、各種イベント等に参加して施設等のPRを行い、入館者の増加に努める。	観光部 足尾観光課

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	評価結果						担当部課名 (H28.4.1現在)
					A	B	C	D	E	総 評	
栗 山 地 域	1	土呂部キャンプ場	土呂部キャンプ場管理組合	23.4.1～ 28.3.31			○			【総評】 利用者数は約３％の増加ながら、利用料金収入は約１６％増加し、一人当たりのコストを約１１％削減できた。 【より良い施設運営に向けての方策】 開運の湯と協力するなどして、新たな自主事業を開催したり、アンケート実施により、要望に応えるなどで利用者の満足度を上げ、さらなる利用者の増加に努める。	観光部 栗山観光課
	2	上栗山オートキャンプ場	上栗山開運の里管理組合	23.4.1～ 28.3.31			○			【総評】 コストが約１４％の増加になったが、利用者数が約４７％、利用料金収入が約３５％増加して、１人当たりのコストを約２３％削減できた。 【より良い施設運営に向けての方策】 開運の湯と協力するなどして、新たな自主事業を開催したり、アンケート実施により、要望に応えるなどして、利用者の満足度を上げ、さらなる利用者の増加に努める。	観光部 栗山観光課
	3	平家の里	平家の里湯西川協同組合	18.4.1～ 28.3.31		○				【総評】 新たな自主事業を行うなどして、利用者の増加に努めており、おおむね適正な運営管理がされている。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・開園から３０年を経過し、補修費の増加も見込まれるため、さらなる経費の削減に努める。 ・施設の老朽化などにより新鮮さが乏しく、利用者も減少している。今後、施設の拡張整備を計画しているため、自主事業のさらなる充実や展示の見直しなど充分に検討を重ね、利用者の確保に努める。	観光部 栗山観光課
	4	川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合	23.4.1～ 28.3.31			○			【総評】 放射能の風評被害が残る中、平成２７年９月には大雨により、利用客・収入共に減であったが、地域で開催されるイベント等と連携協働し、利用客の増加に向けて努力する姿が見られた。 【より良い施設運営に向けての方策】 主な利用が観光客であり、災害等に左右されやすいため、地元住民の利用やリピーターの確保をするなど、誘客対策に努める。	観光部 栗山観光課
	5	上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	上栗山開運の里管理組合	23.4.1～ 28.3.31			○			【総評】 ポイントカード採用により、リピーターを確保する対策で利用客は増加したが、依然として赤字経営のため、引き続き利用者の増加対策を実施し、健全な管理運営を目指してもらいたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 自主事業や、他の施設との連携協働、広報などにより、さらなる誘客に努める。	観光部 栗山観光課
	6	湯の郷湯西川観光センター	株式会社 湯の郷	27.4.1～ 32.3.31			○			【総評】 平成２７年御９月の大雨により、当該月の利用客が対前年で２分の１にまで落ち込んだが、管理運営に関してはおおむね適正に管理されていた。今後も安全対策をより充実させながらも、管理費の見直しを引き続き行い、利用者の満足度向上に努めていただきたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 自主事業などにより、利用者の増加に努め、収入の増加を行う。また、アンケートを実施し、利用者のニーズを把握する。	観光部 栗山観光課
	7	自然体験交流センター 「安らぎの森 四季」	安ヶ森管理組合	23.4.1～ 28.3.31		○				【総評】 平成２７年度についてはおおむね順調な経営状況であったが、平成２７年９月の台風１８号災害により湯西川地域全体の来客数が激減、施設的にも自然体験・アウトドアの利用客が多いため、台風災害により利用客が減った可能性も大きく、施設運営については難しい状況であった。 【より良い施設運営に向けての方策】 恵まれた自然環境に触れる場として、管理施設及び広大な敷地を有効活用した自然体験事業を計画し、利用者の増加に努める。	地域振興部 栗山行政センター
	8	栗山デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25.4.1～ 30.3.31			○			【総評】 地域包括ケアの一翼を担う事業所として、地域と連携し、利用者の拡充につなげた努力が見られた。今後も、さらに地域との交流を取り入れた事業の運営に努めてほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 平成28年度についてもアンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握する。	健康福祉部 高齢福祉課
	9	西川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25.4.1～ 30.3.31			○			【総評】 地域包括ケアの一翼を担う事業所として、地域との連携を強化し、限られた社会資源を最大限に生かした生活支援体制を確立しながら利用者の拡充に努めてほしい。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・介護サービスを利用すべき状態であるにも関わらず、サービス利用につながっていないケースの解消に努める。 ・地域の福祉・介護の拠点としてより高い意識を持った事業所に進歩していくために、ボランティア受け入れにより地域との交流をさらに深める。	健康福祉部 高齢福祉課

地域等		施設名称	指定管理者名	指定期間	評価結果					担当部課名 (H28. 4. 1現在)	
					A	B	C	D	E		総 評
栗山 地域	10	湯西川水の郷	株式会社 湯西川水の郷	27. 4. 1～ 30. 3. 31			○			【総評】 一年を通して季節ごとのイベントを実施し利用者の確保を図ったが、平成27年9月の大雨被害により約半月間の休館を余儀なくされるなど、目標とする利用者数には及ばなかった。リピーターの確保と利用料金の増収が課題であるため、広報をより充実させるなど利用者の確保に努めていただきたい。 【より良い施設運営に向けての方策】 リピーターの確保のために、アンケートの実施やホームページでの意見収集を行い、利用者の満足度向上に努める。	観光部 栗山観光課
	11	西川運動場	株式会社湯の郷、湯西川温泉旅館組合事業 共同体	25. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【総評】 夏休み中（7・8月）のサッカー場利用者数が前年度より△9 2 8 人（△22％）の減少となった。例年同様にチラシ等によるPRや少年サッカー大会等を開催したが利用者数が減少したことから、PR方法の見直しや魅力あるイベントの開拓により利用者数の増加を図る必要がある。 スタッフの丁寧な応対や施設・設備等の適切な保守管理により、施設等の機能が良好な状態に保たれ利用者からの評価は高い。 【より良い施設運営に向けての方策】 ・既存の少年サッカー大会の開催回数の増加や、新たなイベントの開催により利用者数の増加に努める。 ・クロスカントリースキーなど雪を利用したイベントを開催することで、冬期間の誘客対策及び施設の利用促進を図る。 ・チラシやポスターによるPRに加えホームページ上で旬の情報を発信するなど、利用者数の増加に向けた措置を努める。	教育委員会 栗山公民館